

8月30日、夏休みの終わりに三浦海岸で磯場の生物の観察会を行った。前回実施してからじつに3年ぶり。ずいぶんと間が空いてしまった。物凄く暑くて真っ赤に日焼けしてしまったが、久しぶりにみんなを外に連れ出してあげることができて嬉しかった。当日は、到着するや否やさっそく生き物探しを開始。みんなに加わって私も面白い生き物がいないか探し始める。**狙いはウミウシだ**。緑藻の一種のミルがたくさん生えていたので、ミルを網に突っ込んで振り回してみた。すると、何やら1cmくらいの緑色の柔らかい物体が網に落ちた。小さい丸まっていたので何なのか全く分からなかったが、うのように動いている。生徒に預けてまた他の生き物を探していたら、「**さっきのやつ、ウミウシでしたよー！！**」と言われて急いで戻る。しばらく置いておいたところ、びよーんと体が伸びて、ツノも出てきたようだ。本当だ！ウミウシだ！危うく見逃すところだった…。前に三浦海岸で見つけたコノハミドリガイに似てるかな～小さいから子どもかな～なんてその場ではテキトーな推測をしたが、帰って3年前の記録（いきもの記Vol.13）と見比べてみると、前に見たのとは全然違った（記憶は全然当てにならん…。）。ということで、**また新しいウミウシだ！**

海の生き物は詳しくないので、専門家のニッシーに聞いてみることにした。ニッシーは大学の時の友人で、現在、いおワールドかごしま水族館に勤めていて、「**薩摩ウミウシ博士**」と呼ばれている。今年の夏に総文祭で鹿児島に行ったとき、久しぶりに連絡を取っていたのだ。さっそく、このウミウシは「**ヒラミルミドリガイだよ**」と教えてくれた。「ミルには他にもクロミドリガイ、ミドリアマモウミウシ、アオモウミウシとかもつくからミルごと持って帰ってソーティングするのも面白いよー」とのこと。ウミウシの名前がどんどん出てくる…。すごい…さすがウミウシ博士だ！それにしても、ウミウシって思った以上に多様なんだなー！1つの藻類に色んな種類がついていることがあるなんて。さらに、「**海藻に白い渦巻の卵があったらほぼ間違いなくウミウシが隠れている**」と教えてくれた。

ウミウシの卵って渦巻状なのか…。くそう、そうと知っていればもっとちゃんと観察したのに…！ちょちょいと網でつついただけで終わらせてしまったことが悔やまれる。またしても、**知っているかどうかで見える世界が変わる**ことを思い知らされた。もっともっと生き物に詳しくなれば楽しくなるなあ。

三浦海岸に通うことで、すっかりウミウシにハマってしまっている（もちろん他の生き物もたくさんいて楽しい）。3年前は海藻からウミウシを見つけたことで、「**藻類を探すと良い**」ということが分かった。そして今回、ニッシーのおかげでウミウシについてまたちょこっとだけ詳しくなれた。次にまた海に行くのがすでに今から楽しみだ。



磯場観察を行ったフィールド。天気が良くて風もなく、絶好の観察日和だったが……暑すぎる！



三浦海岸の磯場で見つけたヒラミルミドリガイ 以前紹介したコノハミドリガイ（Vol.13）と同じく、藻類から葉緑体を奪い、光合成能力を獲得するという反則技を持つスーパー生物。人間で言ったら、野菜を食べたらナメック星人みたいな見た目になって光だけで生きられるようになる、ということ。無茶苦茶だ。この能力は一部のウミウシにしか無い。



カイメンを割いてみたら、Vol.14で紹介したウミクワガタをまたしても見つけた。こいつはかなり個体数が多いようだ。体長約3mmの小さな生物。



緑藻のミルを広げてみたところ。ヒラミルミドリガイは色がミルにそっくりで、簡単には見つからない。